

解体工事特記仕様書

I. 工事名

津州市営高洲住宅（１４－１３）解体工事

II. 工事概要

1 工事場所

津市高洲町地内

2 工事内容

棟名称

津州市営高洲住宅（１４－１３）

構造

プレキャストコンクリートパネル造

延べ面積

１６７．３３㎡

解体面積

８０．２３㎡

工事項目

建物体解、外構その他解体、設備撤去、構内整備

III. 解体工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和4年版）による。

2 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。

3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は建設物解体工事共通仕様書の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																	
1 一般 共通 事項	① 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（令和4年版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（令和4年版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（令和4年版） ○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ○その他関係法令																	
	② 発生材の処理等 (1. 3. 10) (4. 4. 1) (5. 4. 1)	○ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 ○ 分別解体等の方法 <table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>建築設備・内装材等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根ふき材</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>外装材・上部構造部分</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table> 引き渡しを要するもの ○ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ・ () 特別管理産業廃棄物 ・ 有 () 処理方法 () 木材の縮減 ・ 実施する (最も近い再資源化施設までの距離が50kmを超える場合に限る) 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ () 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ○ 金属類 ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	○ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																	
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
その他 ()	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	

③ 建設副産物情報交換システムの利用	引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。
	受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。 なお、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
④ 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の４月１日から８月３１日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
⑤ 電気保安技術者 (1. 3. 3)	○ 配置する
⑥ 技能士 (1. 6. 2)	職種別に可能なものについては積極的に活用すること
⑦ 疑義	設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。
⑧ 施工条件 (1. 3. 5)	○ 以下の通りとし、必要に応じて監督員と協議し決定する。 施工可能日 ○ 騒音、振動、粉塵作業は原則土、日、祝日作業不可 施工可能時間帯 ○ 指定なし ※夜間、早朝に配慮すること 部位別の施工順序 ○ 指定なし ・ () 工事車両の駐車場 ○ 指定なし ※近隣駐車場4台程度調整可能。 資機材置場 ○ 指定なし ※空き家等調整可能 ○ 集会所が付近にあり、通学路ともなっているため、児童や公衆の安全に配慮し、工事車両は、現場周囲最徐行、大型車両進出時には、交通誘導員を配備し、安全対策を行うこと。
⑨ 官公庁手続	工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。
⑩ 騒音・振動の防止	重機は「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
⑪ 危険災害の防止	1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告すること。 2) 重機搬出入時、発生材搬出時、仮設材搬出入時には、交通整理のための誘導員を配置すること。
⑫ 工事進入路	重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。
⑬ 工事写真	1) 着工前： 解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 2) 工事中： 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版））に従い撮影するほか、監督員との協議による。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。
⑭ 完成写真	デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に１ページあたり３枚） １部 写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なしで撮影すること。
⑮ 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑯ 提出書類	施工計画書、仮設計画書、工事写真、その他市監督員の指示するものとする。
	施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。
⑰ 産業廃棄物	1) 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。
⑱ 不正軽油の使用の禁止	監督員立会いのもと、地下残存物の確認を受けること。 確認時期は、監督員と協議し決定する。
⑲ 地下残存物の確認	解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において現状復旧を行うこと。
⑳ 損傷を与えた場合の対応	○作業着手までの期間に調査及び施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。 ○作業着手までの調査は、事前に施設管理者及び、市監督員と協議するものとする。 ○敷地内、周辺での作業通行等は周辺住民の安全確保に十分配慮すること。 ○上屋解体期間は安全対策のため、作業終了時及び休工時は出入口を施錠すること。 ○作業着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員の立会いのもと写真等に記録しておくこと。 ○設計書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ○工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ○緊急且つ必要な場合において、市監督員以外（施設管理者等）が直接受注者に指示することがある。その場合は当該指示に従うこと。 ○腐材、残土等の搬出にあたっては、周辺道路を汚さないこととし、当然のことながら無理な積込みは行わないこと。 ○工事車両等の出庫時は、タイヤ清掃等を行うなど、工事敷地からの土砂の流出抑制に心掛けること。 ○喫煙は限られた場所のみとし、現場内は禁煙とする。 ○建物付属物については特記なき限り記載の有無に関わらず全て撤去処分とする。 ○特記無き植栽は、全て伐採・伐根とし、業者処分とする。 ○埋設配管については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。 ○足場は、倒壊がないように堅固に組み立てること。 ○台風等により強風が考えられる場合は、足場のシート撤去や部分補強をあらかじめ行うこと。 ○本工事は、火災により、１棟２戸の内、１戸が全焼した建築物である。以下の項目について調査を行い、その結果不検出または環境省・厚生省における基準値以下であった。 (ダイオキシン、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、セレン又はその化合物、1,4-ジオキサン) ○本工事の燃え殻については産業廃棄物として適正に処理すること。 ○近隣の津市高洲教育集会所駐車場の使用について、4台程度の調整が可能である。使用の際は、監督員及び施設管理者との協議の上、使用期間・安全対策等を調整し、決定するものとする。使用範囲は、ガラクコンパにより区画を要する。 ○解体工事着手前に、近隣への工事案内文を作成の上、ポストイを行うこと。 ○施工者の責任において、建築物除却届を作成の上、提出すること。
㉑ その他	

津州市営高洲住宅（１４ - １３）解体工事		縮尺
図面名称	解体工事特記仕様書（１）	原因：Ａ 2
		No. 1/21
津市建設部市営住宅課		

章	項目	特記事項																																																								
仮設工事	2 ① 仮設トイレ	構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない																																																								
	② 仮囲い	位置 ○ 図示（図面番号： 4/21 ） ・ その他（ ） 仕様 ○ 図示（図面番号： 4/21 ） ・ 成形鋼板H=3000 ・ 成形鋼板H=2000 ・ その他（ ）																																																								
	3 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設置する。 監督員事務所の規模（単位：㎡） <table><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table> 監督職員事務所の仕上げ <table><tr><td>部 位 等</td><td>仕 上 げ</td></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニール床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table> 備品等の設置 <table><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話・FAX</td><td>インターネット</td><td>冷暖房機器</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台
	適用																																																									
	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																				
	部 位 等	仕 上 げ																																																								
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																																								
	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																								
	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																								
	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																				
数量	組	台	個	個	個																																																					
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																					
④ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない 取出位置 ・ 図示（図面番号： ）																																																									
⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																									
⑥ 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1)	○ 設ける ・ 防音パネル ○ 防音シート ・ 養生シート 適用範囲、高さ等 図示（図面番号： ） ・ 設けない																																																									
7 仮設鉄板敷	・ 工事用進入路の養生として、鉄板（t=22）を敷き、養生を行うこと。 ・ 砂充填 ・ （ ）																																																									
8 山留めの撤去 (2.4.3)	鋼矢板等の抜き後の処理 位置 ・ 図示（図面番号： ）																																																									
⑨ 散水養生	解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。																																																									
⑩ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																																																									
解体施工	3 1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)	汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う ・ 行わない																																																								
	2 オイルタンク、サビスタック配管内等(3.2.1)	廃油の回収、洗浄等 ・ 行う ・ 行わない																																																								
	③ 杭の撤去(3.9.2)	杭の撤去 ・ 行う ○ 行わない 解体方法 ・ 引抜き工法（ ・ 振動 ・ ケーシング ・ （ ）） ・ 破砕 ・ 図示（図面番号： ）																																																								

		引き抜いた杭の処理 ・ 図示（図面番号： ）
	④ さく、照明設備等 	

2

石綿粉じん濃度測定

(6. 1. 3)

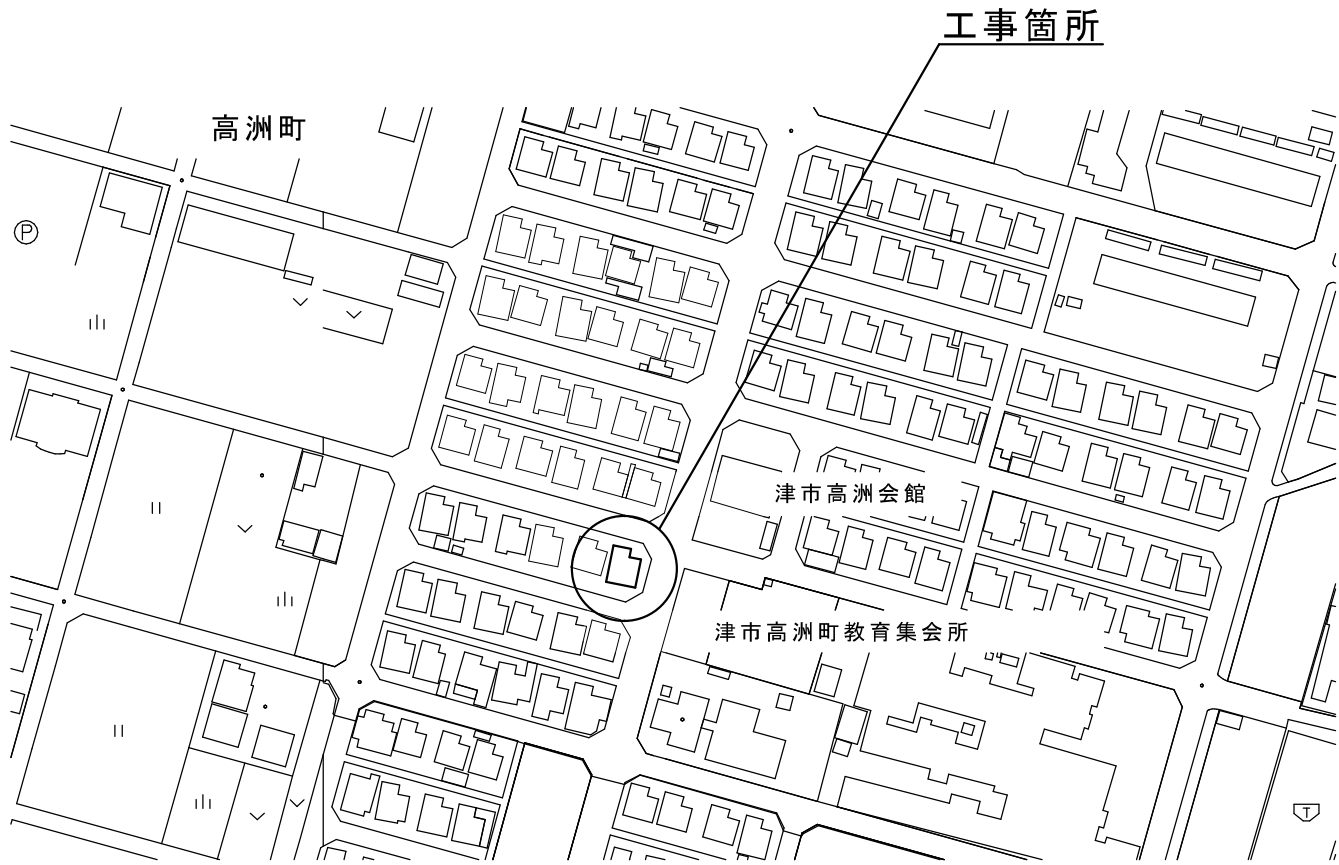
材 料 名	定性分析 ・ JIS A 1481-1 ・ JIS A 1481-2	定量分析 ・ JIS A 1481-3 ・ JIS A 1481-4
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()

採取箇所 ・ 図示 (図面番号

津市市営高洲住宅（1 4 - 1 3）解体工事		縮尺
図面名称	解体工事特記仕様書（2）	原図：A 2
津 市 建 設 部 市 営 住 宅 課		No. 2/21

■ 外部仕上表

	仕 上 げ	状 態
基礎巾木	コンクリート打放し仕上げ	焼 損
外 壁	アクリル系リシン吹付　コンクリート下地	焼 損
軒 裏	石綿大平板　AEP塗	焼 損
バルコニー	保護モルタル目地切伸縮目地	焼 損
バルコニー手摺	アルミ製手摺　H=1,100	焼 損
縦樋	塩化ビニル製　55φ　掴み金物共	焼 損
建 具	アルミ製	焼 損
ホーチ	磁器質タイル100角張	焼 損
テラス	モルタル金コテ仕上げ	焼 損
大屋根	鉄骨小屋組　木製下地　特殊彩色石綿板（コロアル同等品）	焼 失
物置屋根	物置：ルーフデッキt0.8	焼 損
洗濯場	モルタル金コテ仕上げ	焼 損



付近見取図 S=1/200

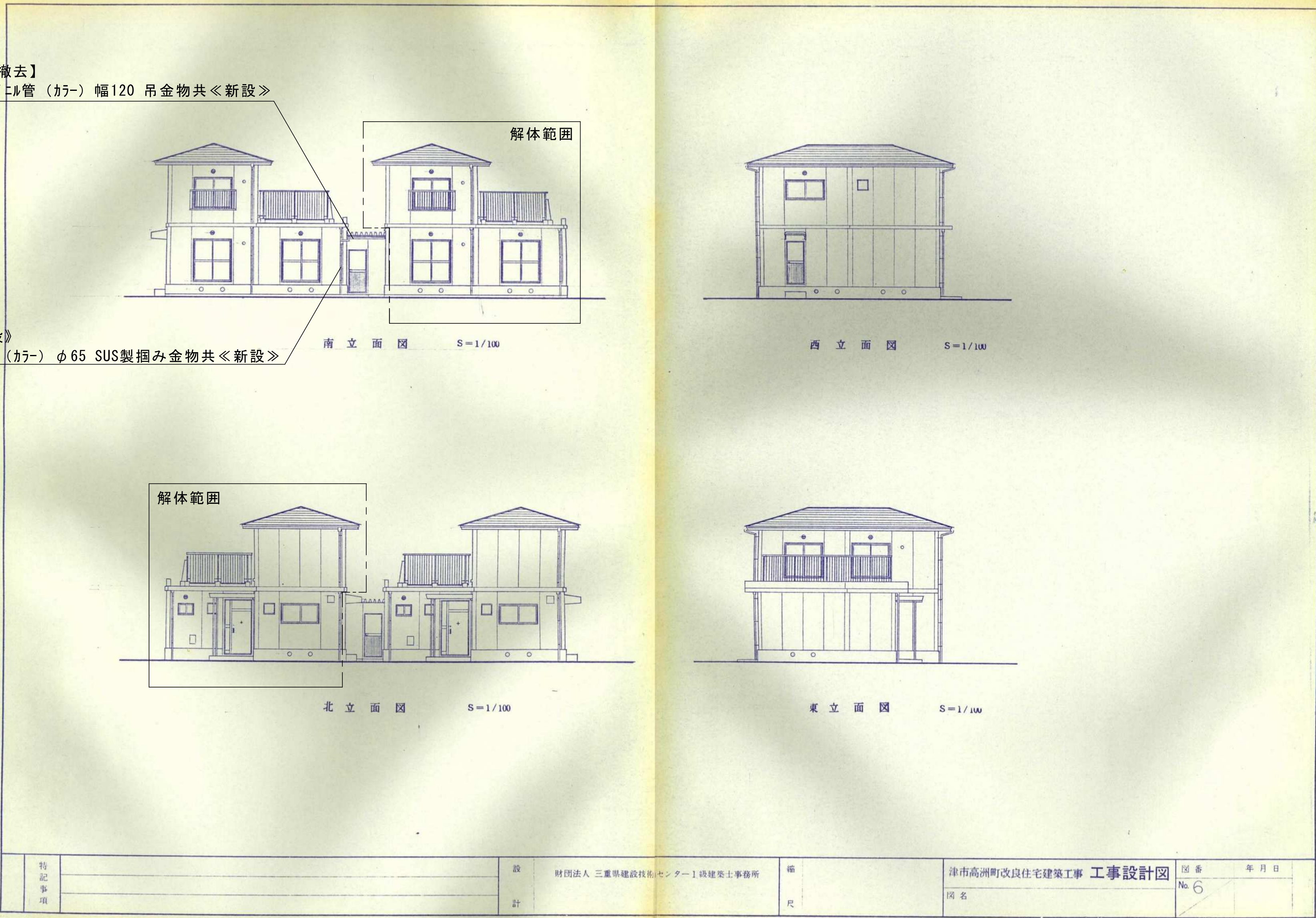
■内部仕上表

		床				巾木		腰壁・壁						天井				備考
		【仕上げ】	状態	【下地】	状態	【仕上げ】	状態	【仕上げ（腰壁）】	状態	【仕上げ（壁）】	状態	【下地】	状態	【仕上げ】	状態	【下地】	状態	
1階	玄関	磁器質タイル100角	焼損	コンクリート	－	小口掛タイル	焼損	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	木製	焼失	インシュレーションﾎｰﾄﾞt12	焼失	木製	焼失	
	ホール	モザイクﾊﾞｰｹｯﾄﾌﾛｱt12	焼損	木製	－	木製 H=60	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	木製	焼失	インシュレーションﾎｰﾄﾞt12	焼失	木製	焼失	
	脱衣	クッションﾌﾛｱ貼 モルタル下地	焼損	コンクリート	－	木製 H=60	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	ﾊﾞｽｽﾘﾌ	焼損	木製	焼失	洗面台＜焼失＞
	便所	クッションﾌﾛｱ貼 モルタル下地	焼損	コンクリート	－	木製 H=60	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	化粧石膏ﾎｰﾄﾞ張t9	焼失	木製	焼失	大便器＜焼損＞
	浴室	モザイクﾀｲﾙ施釉 モルタル下地	焼損	コンクリート	－	施釉100角タイル	焼損	施釉100角タイル	焼損	施釉100角タイル	焼損	コンクリート	－	ﾊﾞｽｽﾘﾌ	焼損	木製	焼失	風呂釜＜焼失＞
	和室	ｽﾀｲﾛ畳t54	焼失	木製	焼損	畳寄せ	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	杉柵ﾗﾐﾅ敷目張	焼失	木製	焼失	
	作業室	モザイクﾊﾞｰｹｯﾄﾌﾛｱt12	焼損	木製	－	木製 H=80	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	ｼﾞﾌﾞﾄﾝt9	焼失	木製	焼失	
	押入	ﾍﾞﾆｰt5.5	焼失	木製	焼失	雑巾摺	焼失	ﾍﾞﾆｰt4	焼失	ﾍﾞﾆｰt4	焼失	木製	焼失	ﾍﾞﾆｰt4	焼失	木製	焼失	
	台所	クッションﾌﾛｱ貼 ｺﾝﾊﾟﾂt12下地	焼損	木製	－	木製 H=80	焼失	ビニルクロス貼 石膏ﾎｰﾄﾞt9下地	焼失	ビニルクロス貼 石膏ﾎｰﾄﾞt9下地	焼失	木製	焼失	ｼﾞﾌﾞﾄﾝt9	焼損	木製	焼損	流し台W1800+ｶﾞｽ台W700 +吊戸棚W1800＜焼損＞
	物置	モルタル金ｺﾃ仕上	－	コンクリート	－	PC板素地	－	PC板素地	－	PC板素地	－	－	－	折版素地	－	－	－	
2階	階段	集成材	焼失	木製	焼失	集成材	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	木製	焼失	インシュレーションﾎｰﾄﾞt12	焼失	木製	焼失	
	階段ホール	モザイクﾊﾞｰｹｯﾄﾌﾛｱt12	焼失	木製	焼失	木製 H=60	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	化粧ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t4	焼失	木製	焼失	インシュレーションﾎｰﾄﾞt12	焼失	木製	焼失	
	北和室	ｽﾀｲﾛ畳t54	焼失	木製	焼損	畳寄せ	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	杉柵ﾗﾐﾅ敷目張	焼失	木製	焼失	
	南和室	ｽﾀｲﾛ畳t54	焼失	木製	焼損	畳寄せ	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	杉柵ﾗﾐﾅ敷目張	焼失	木製	焼失	
	押入	ﾍﾞﾆｰt5.5	焼失	木製	焼損	雑巾摺	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	ビニルクロス貼 ﾍﾞﾆｰt5.5下地	焼失	木製	焼失	

参考図

折版用軒樋【撤去】
硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）幅120 吊金物共《新設》

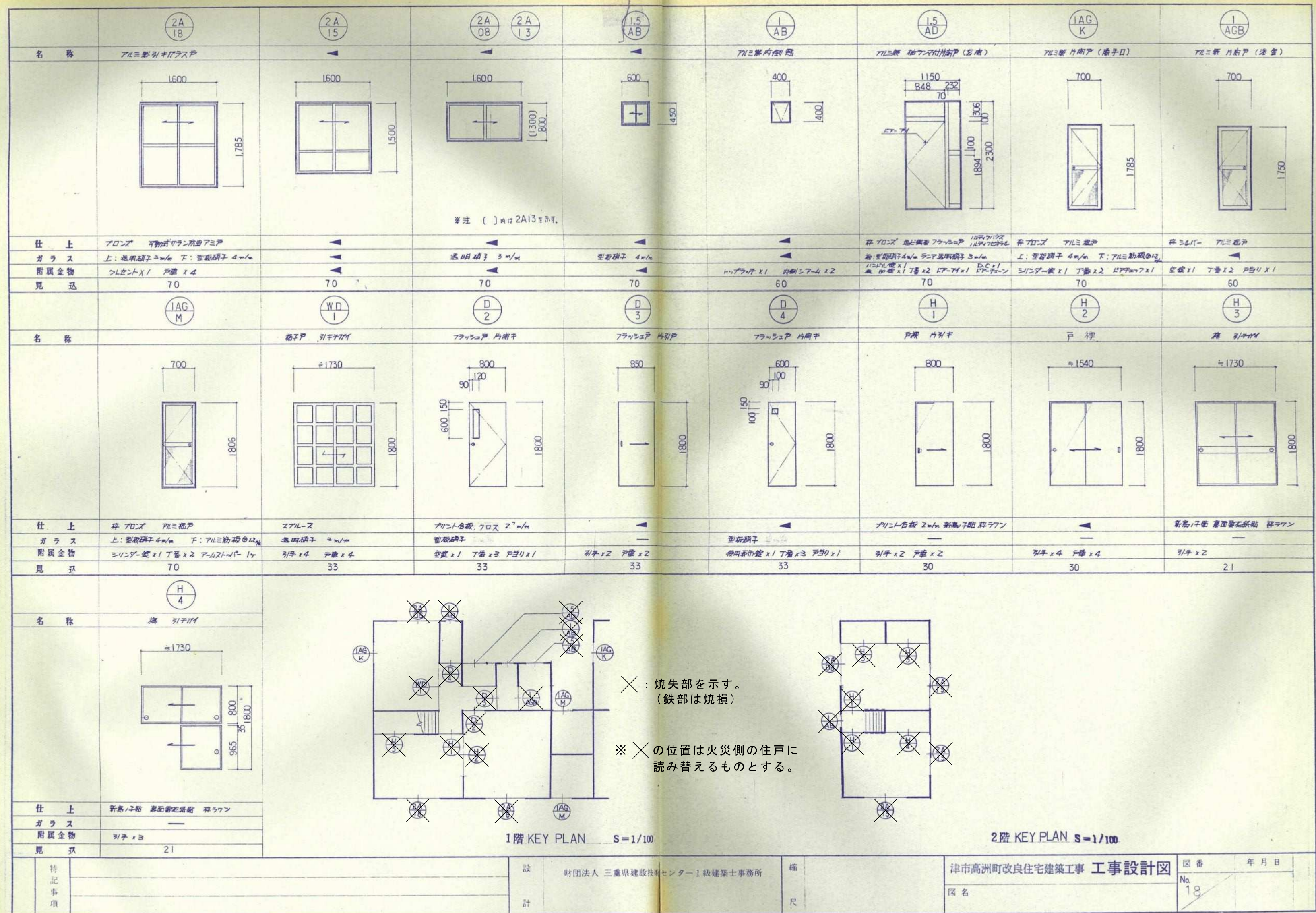
縦樋【撤去】《新設》
硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）φ65 SUS製掴み金物共《新設》



※火災による焼損・焼失状態は、仕上表参照

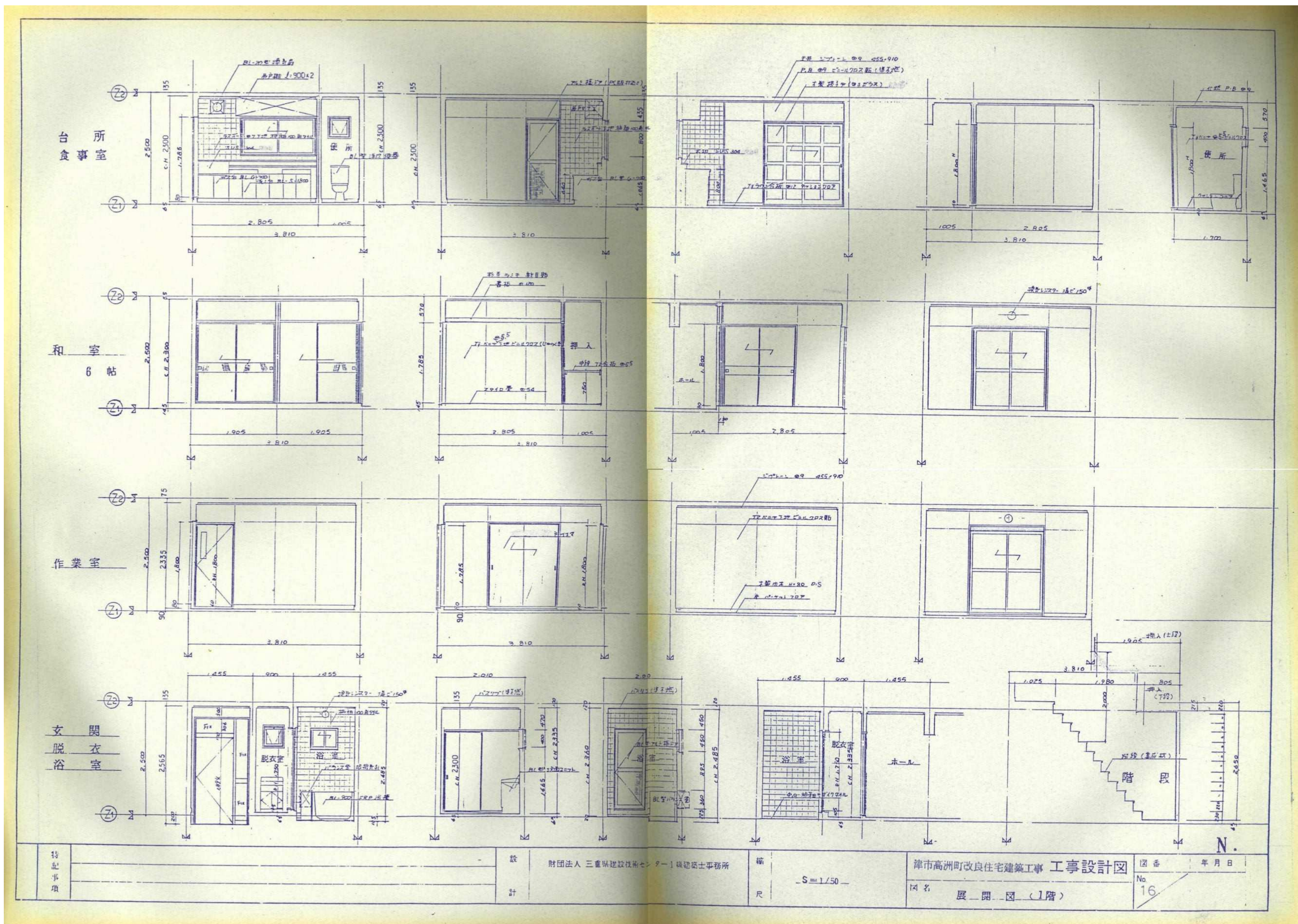
津市市営高洲住宅（14 - 13）解体工事		縮尺
		NS
図面名称	立面図	原図：A 2
津市建設部市営住宅課		No. 5/21

参考図



津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
図面名称		原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 6/21

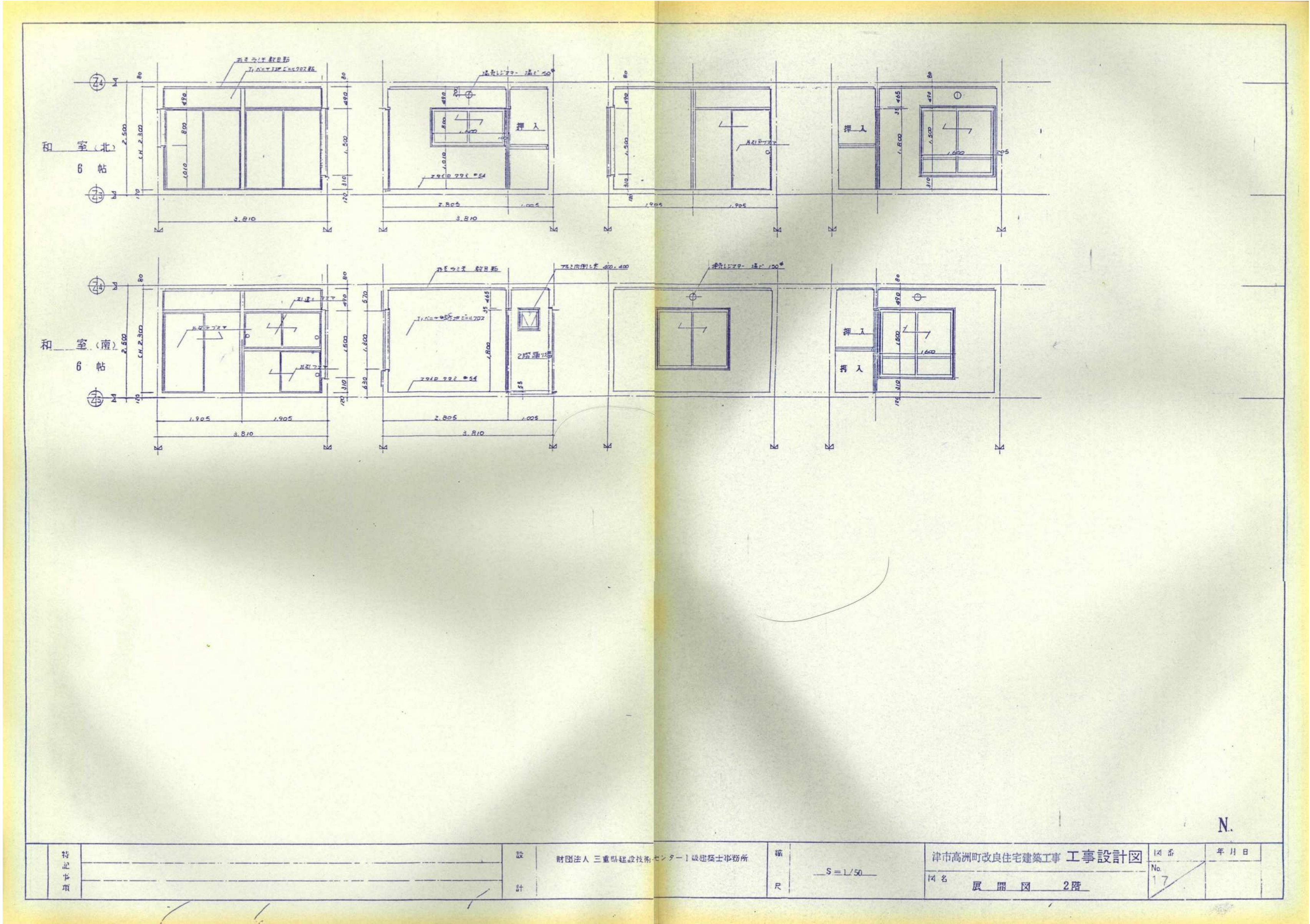
参考図



※火災による焼損・焼失状態は、仕上表参照

津市市営高洲住宅（14 - 13）解体工事		縮尺
図面名称		原図：A 2
津市建設部市営住宅課		No. 7/21

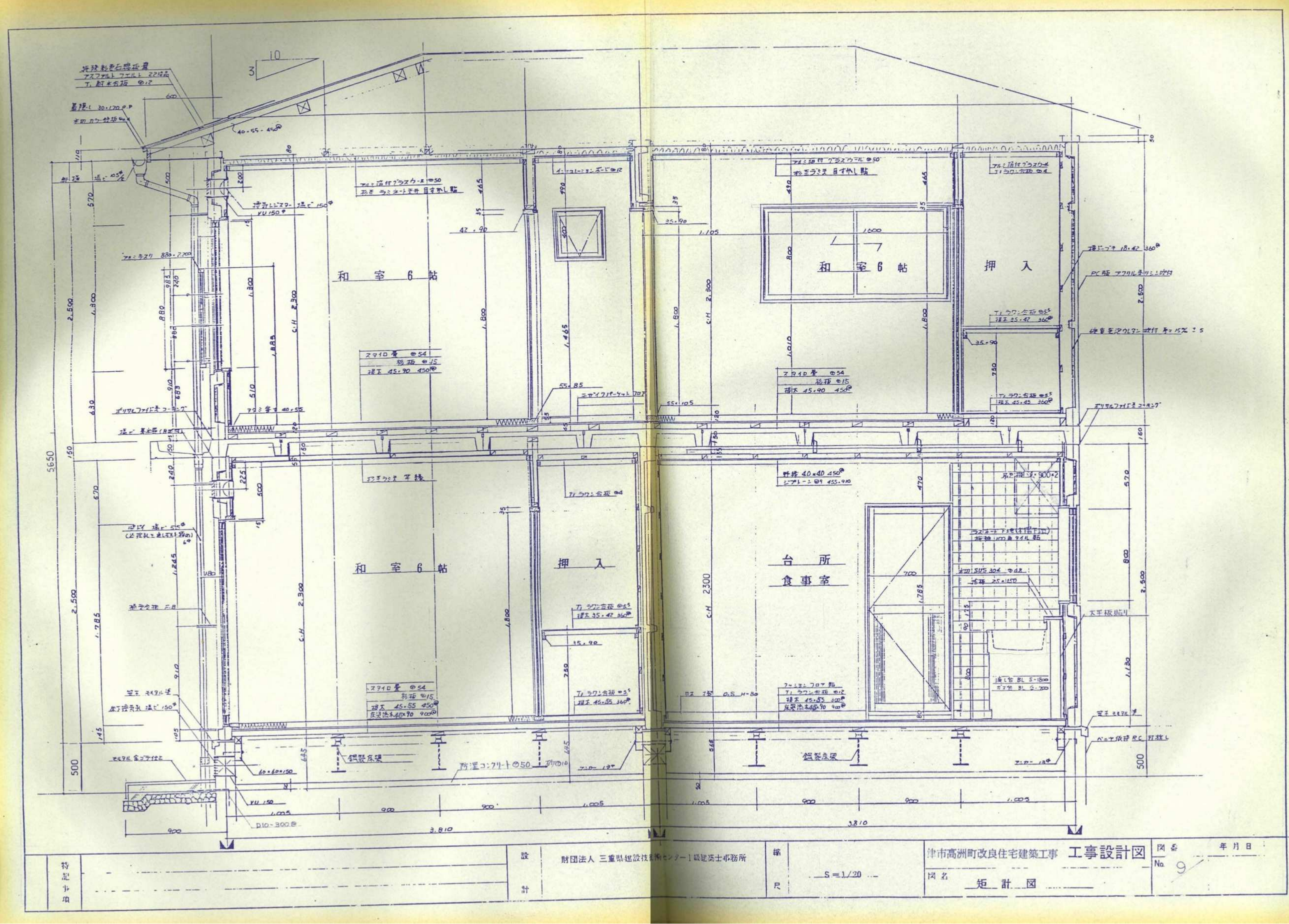
参考図



※火災による焼損・焼失状態は、仕上表参照

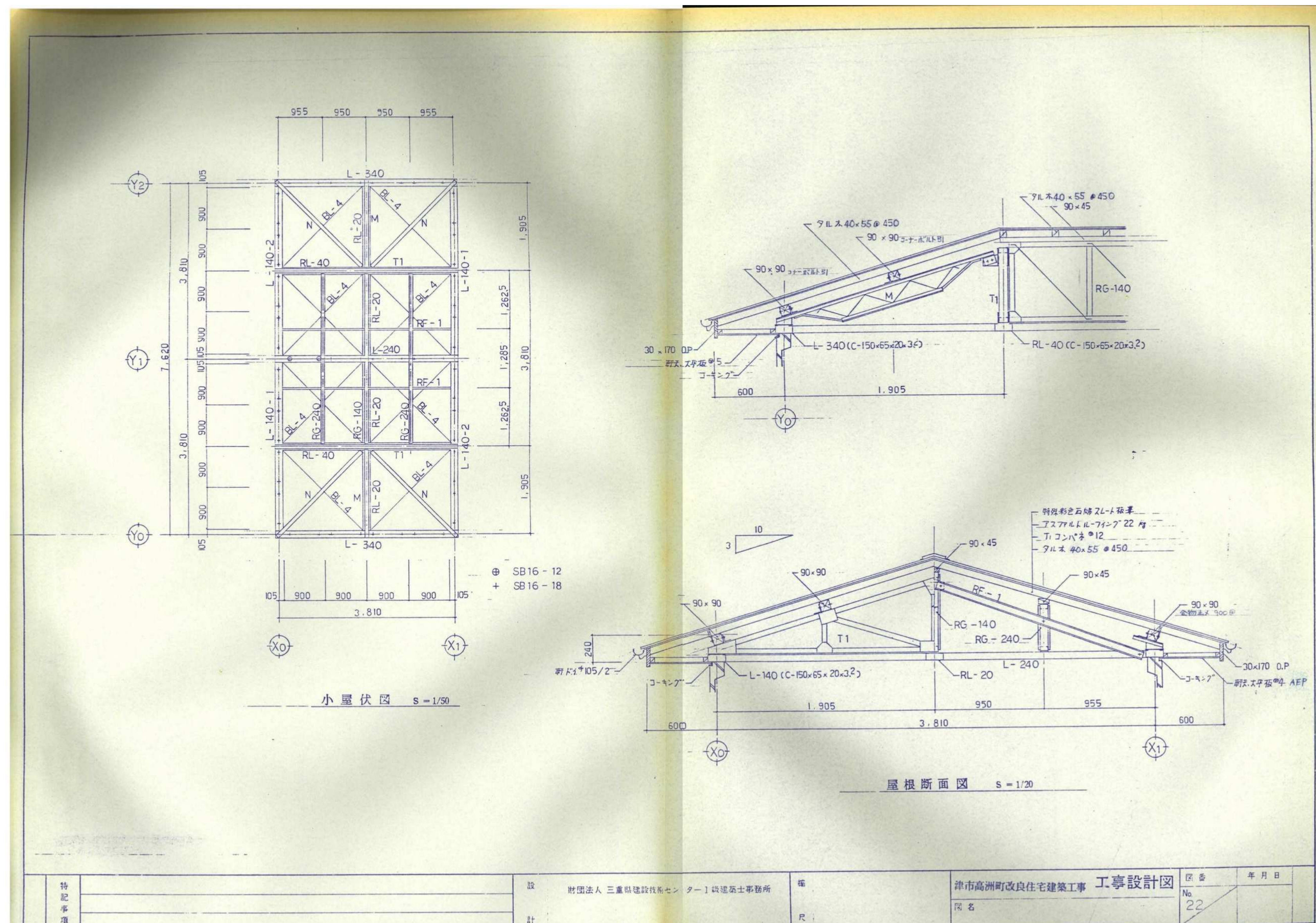
津市市営高洲住宅（14 - 13）解体工事			縮尺
展開図（2階）			原図：A 2
津市建設部市営住宅課			No. 8/21

参考図

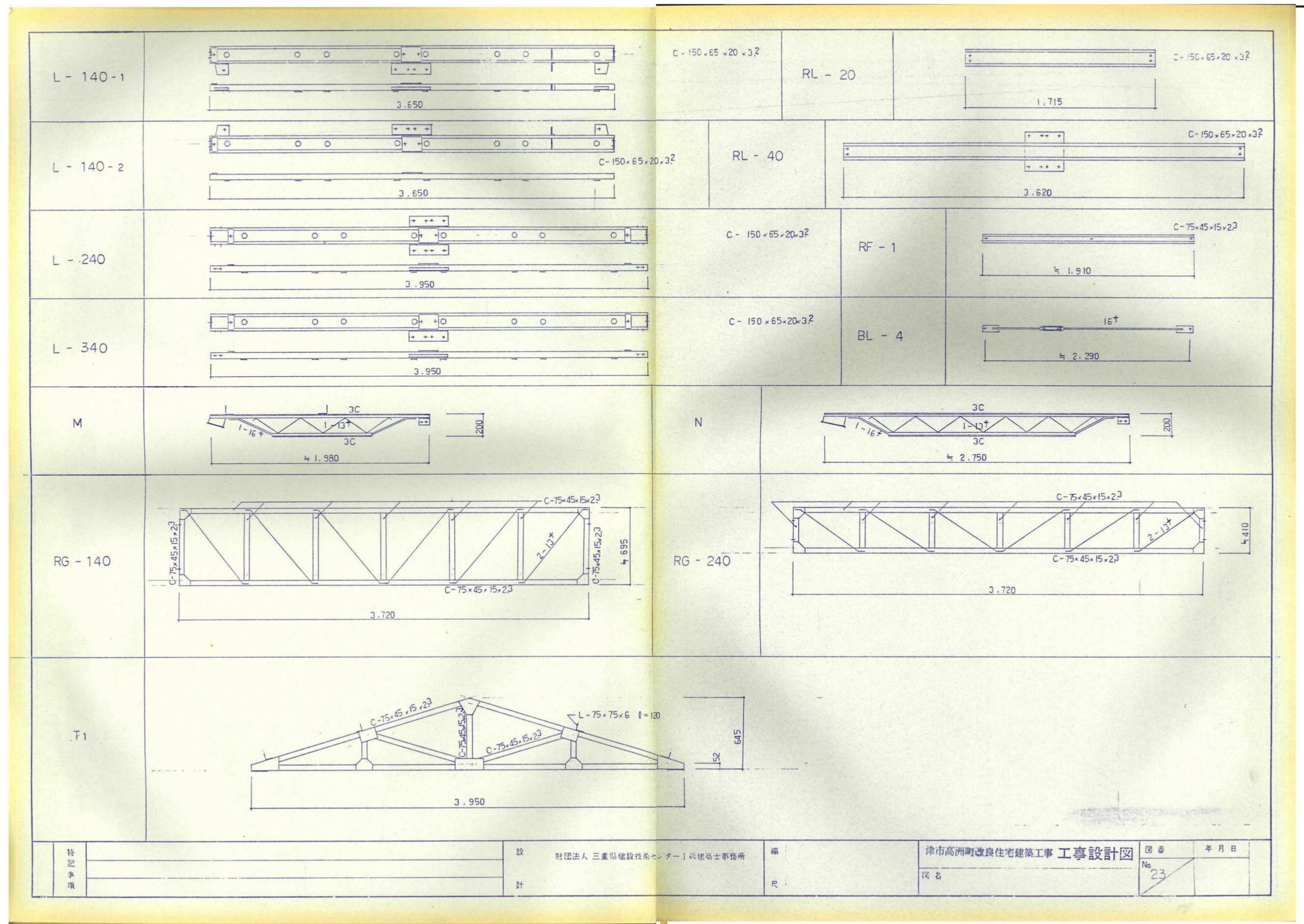


※火災による焼損・焼失状態は、仕上表参照

津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
図面名称		原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 9/21

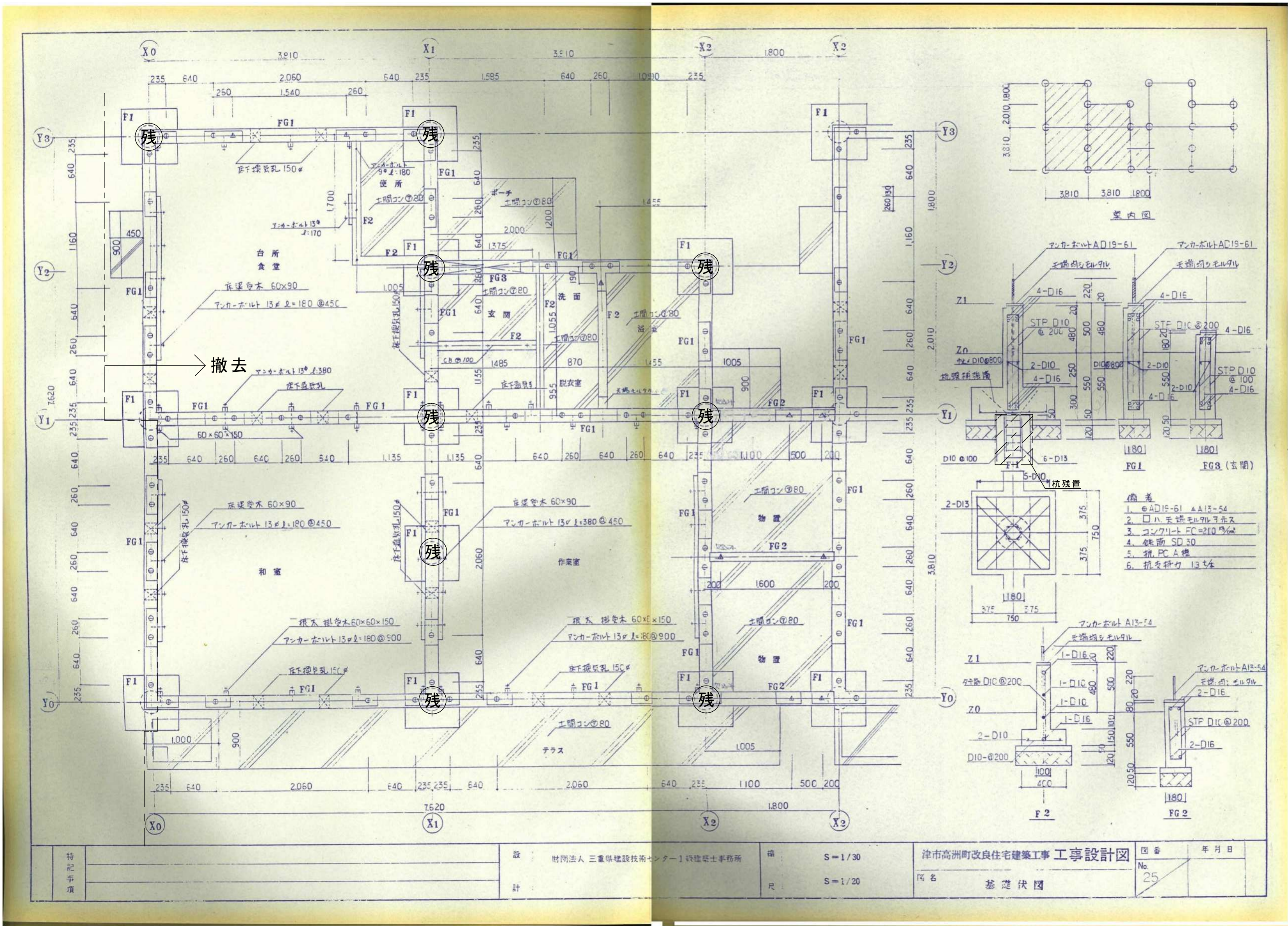


参考図



津市市営高洲住宅（１４ - １３）解体工事		縮尺 NS
図面名称	小屋伏図（２）	原図：Ａ２
津市建設部市営住宅課		No. 11/21

参考図

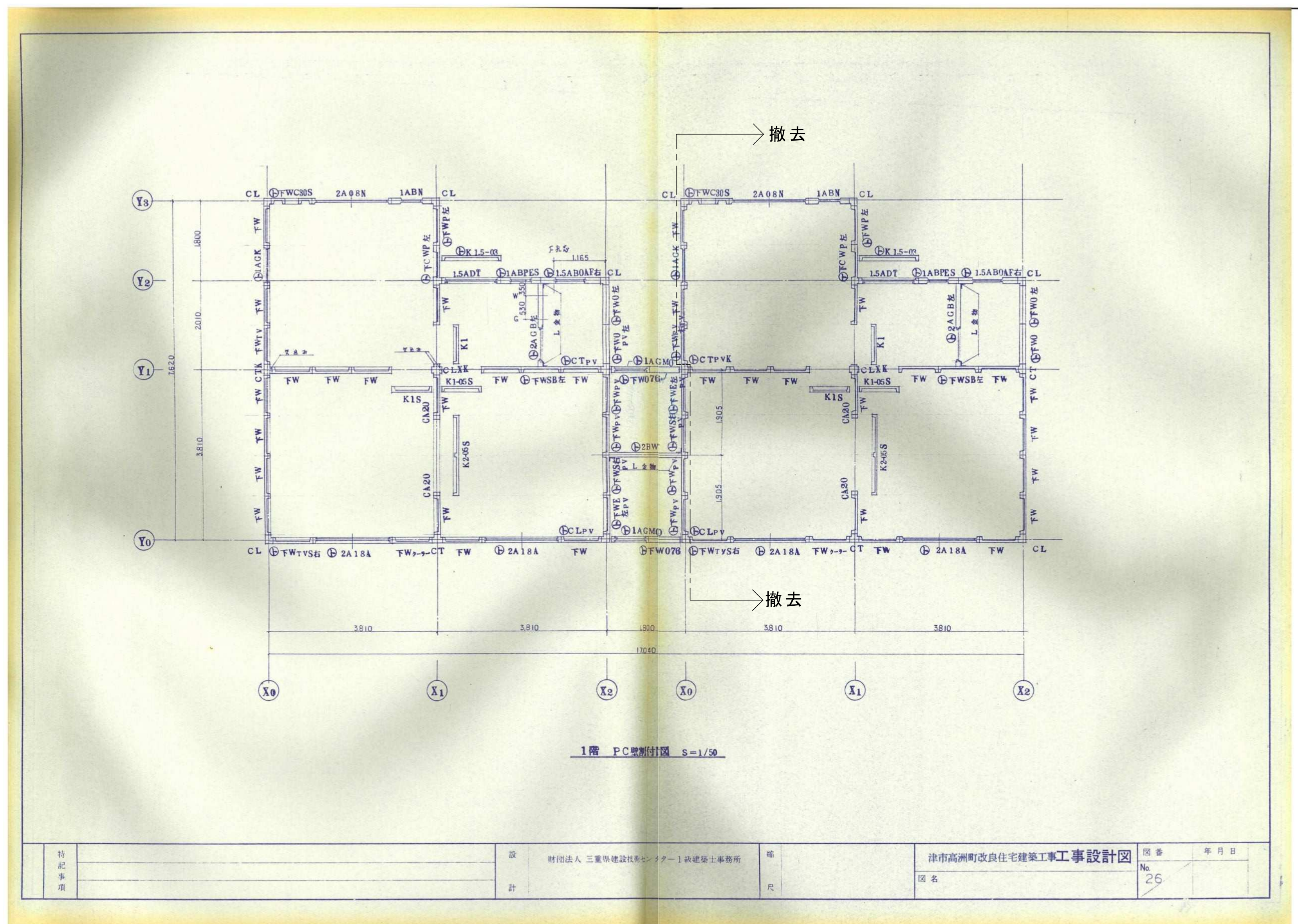


○残：杭残置部を示す。

※ 杭残地部の位置は、火災側の住戸に読み替えるものとする。

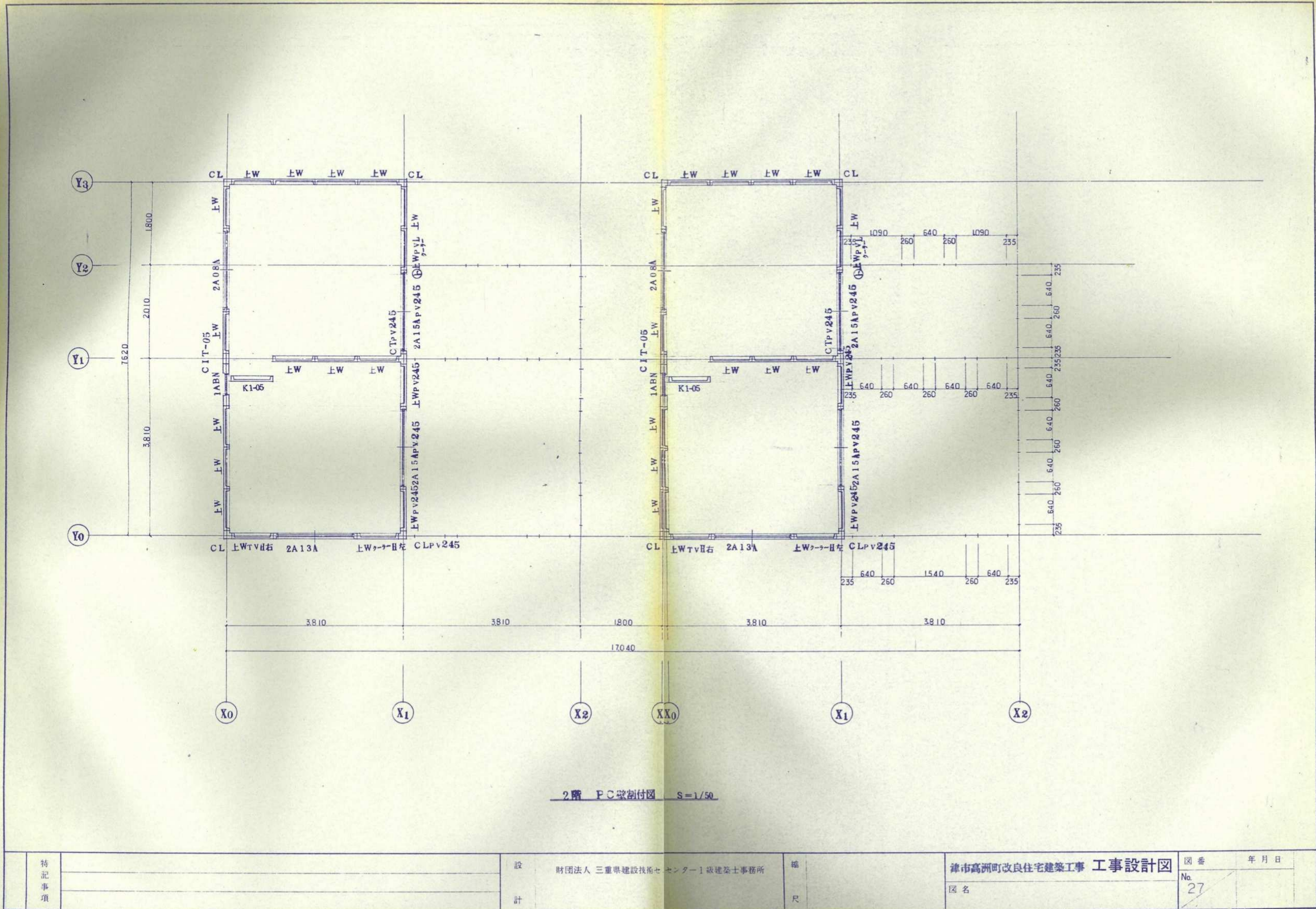
津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
		NS
図面名称	基礎伏図	原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 12/21

参考図

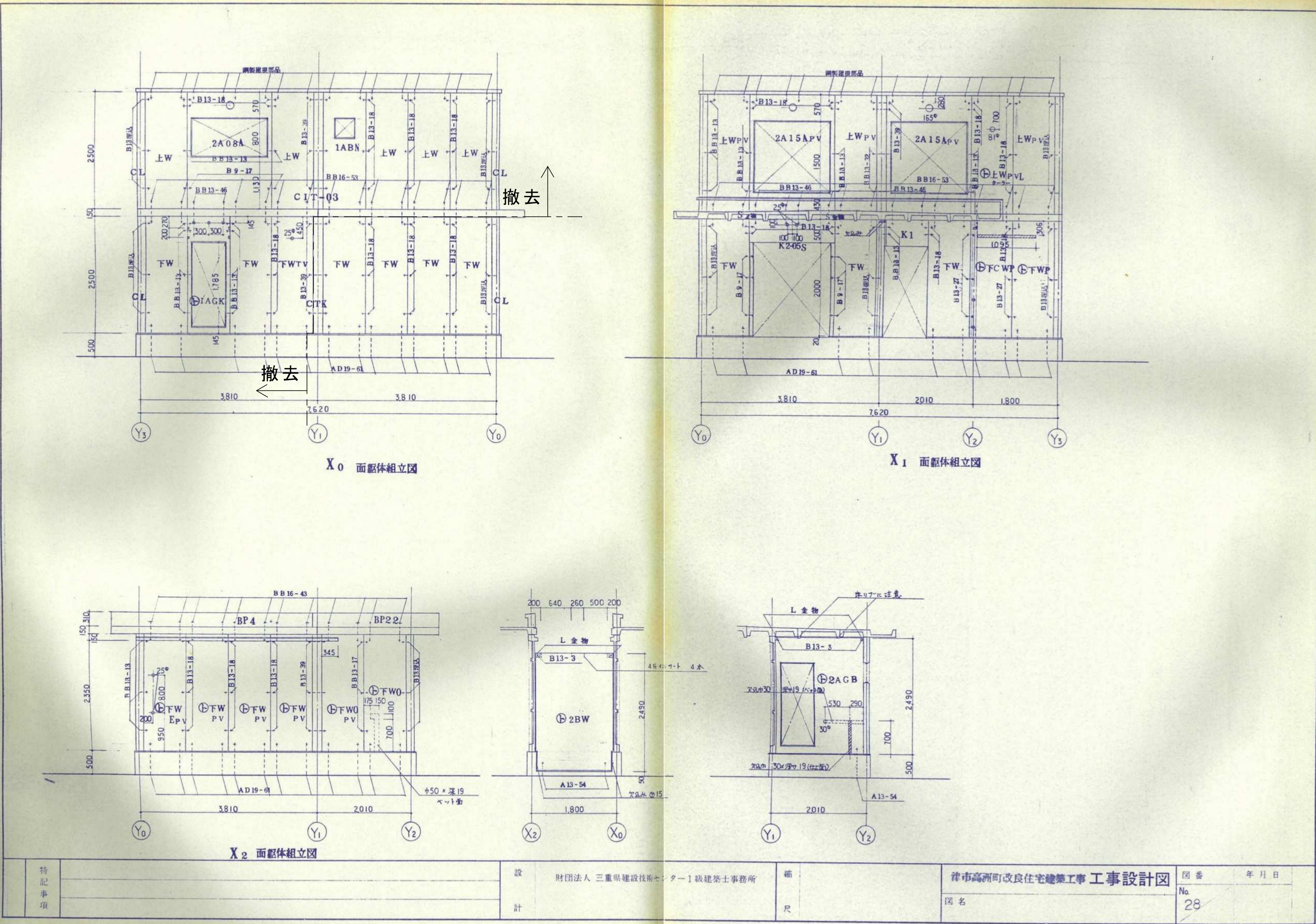


津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺 NS
図面名称	1階PC壁割付図	原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 13/21

参考図

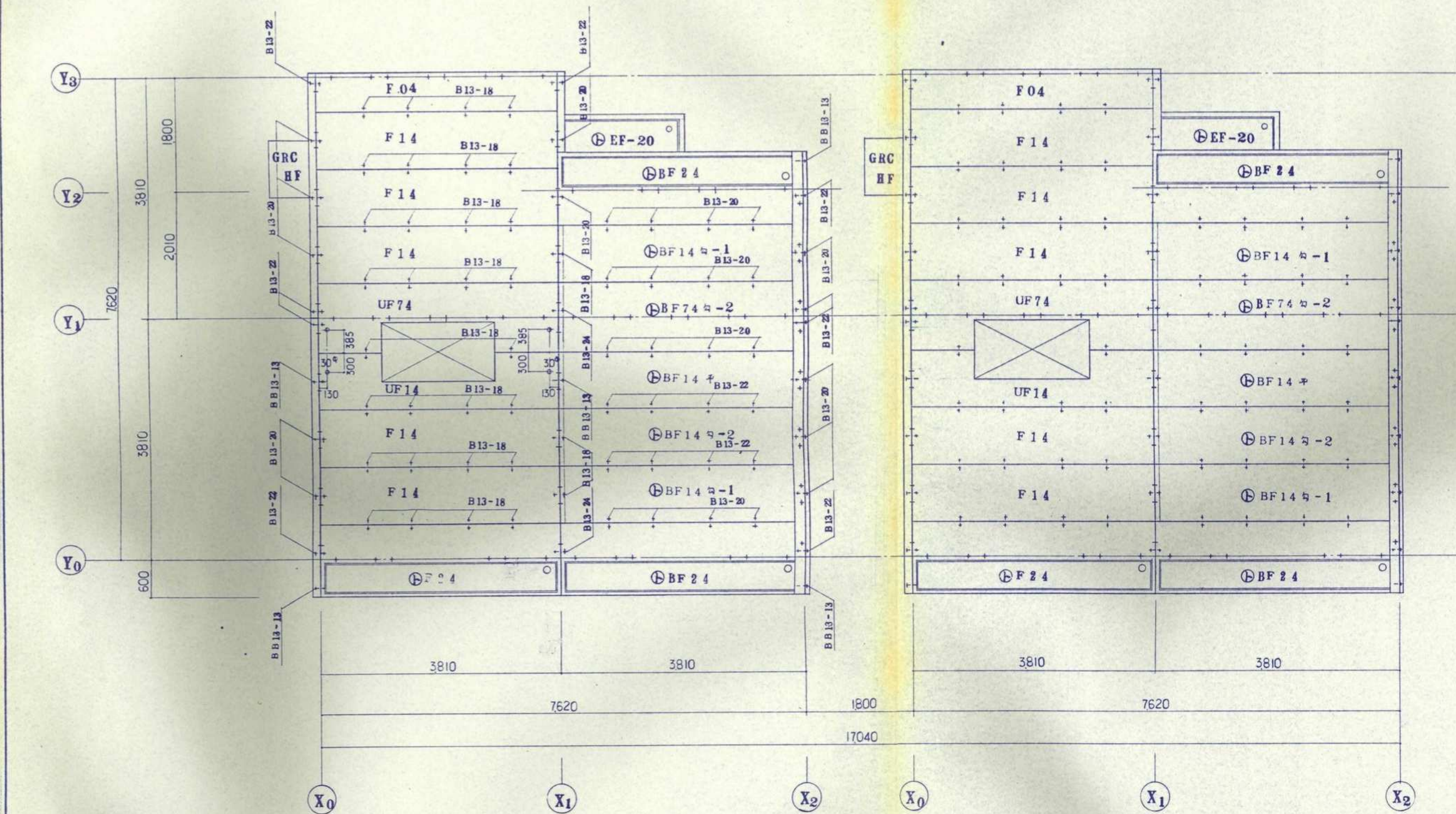


津市市営高洲住宅（１４ - １３）解体工事		縮尺 NS
図面名称	2階PC壁割付図	原図：A 2
津 市 建 設 部 市 営 住 宅 課		No. 14/21



津市市営高洲住宅（14 - 13）解体工事			縮尺
図面名称			原図：A 2
津市建設部市営住宅課			No. 15/21

参考図

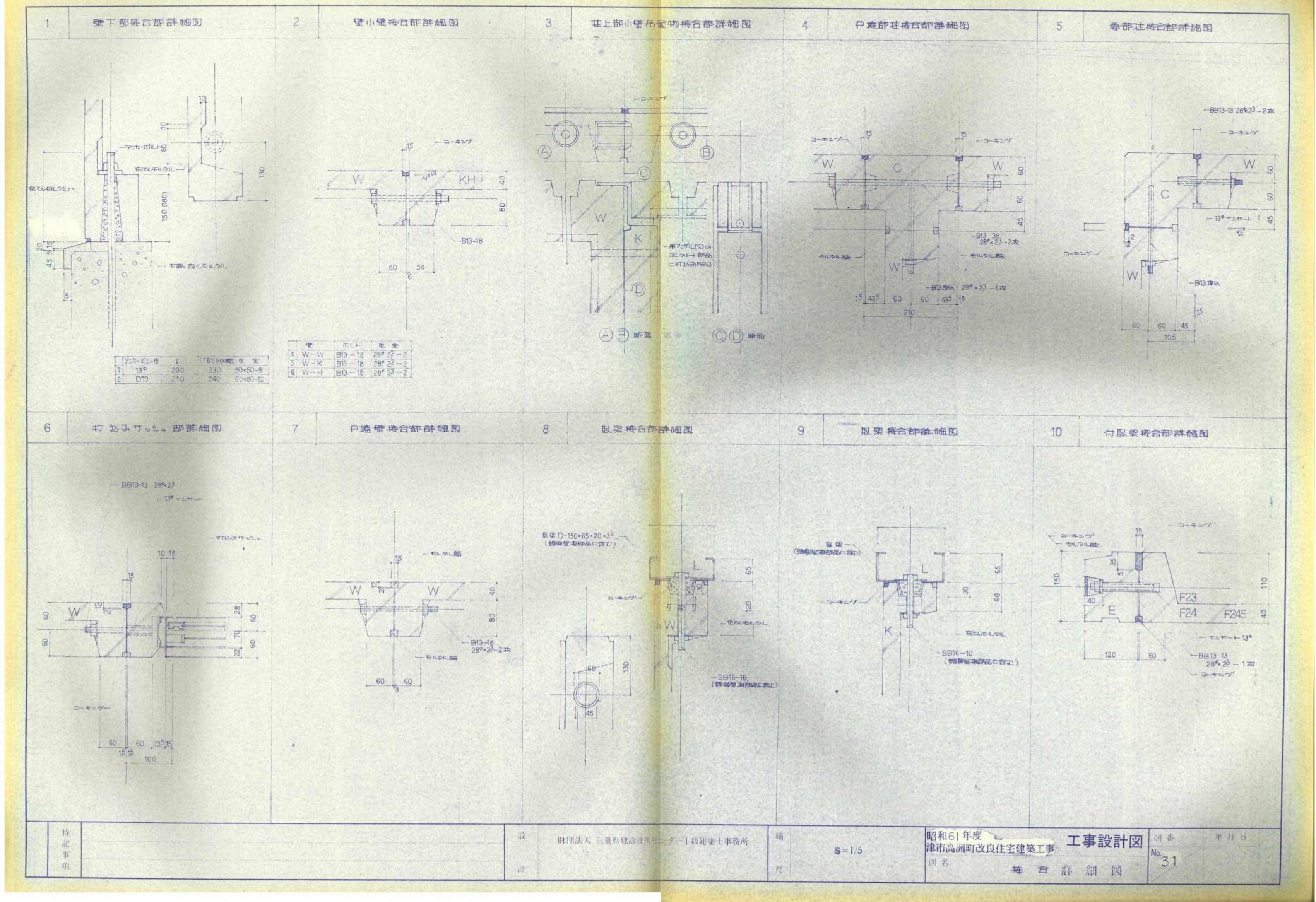


PCスラブ割付図 ε=1/50

特 記 事 項		設	財団法人 三重県建設技術センター 1 級建築士事務所	縮		津市高洲町改良住宅建築工事	工事設計図	図 番	年 月 日
								No.	
			計		尺		図 名	30	

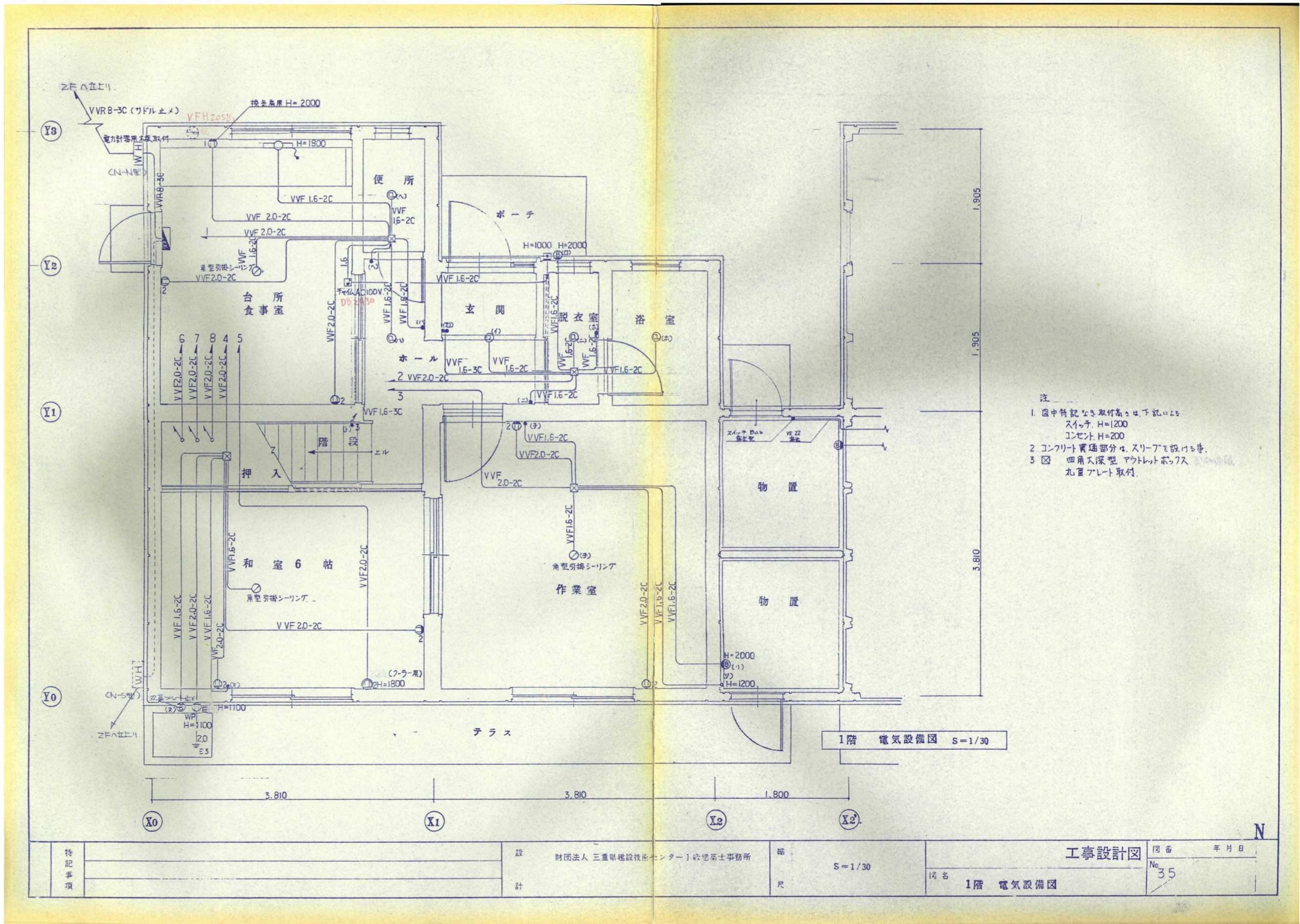
津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
図面名称		NS
PCスラブ割付図		原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 17/21

参考図



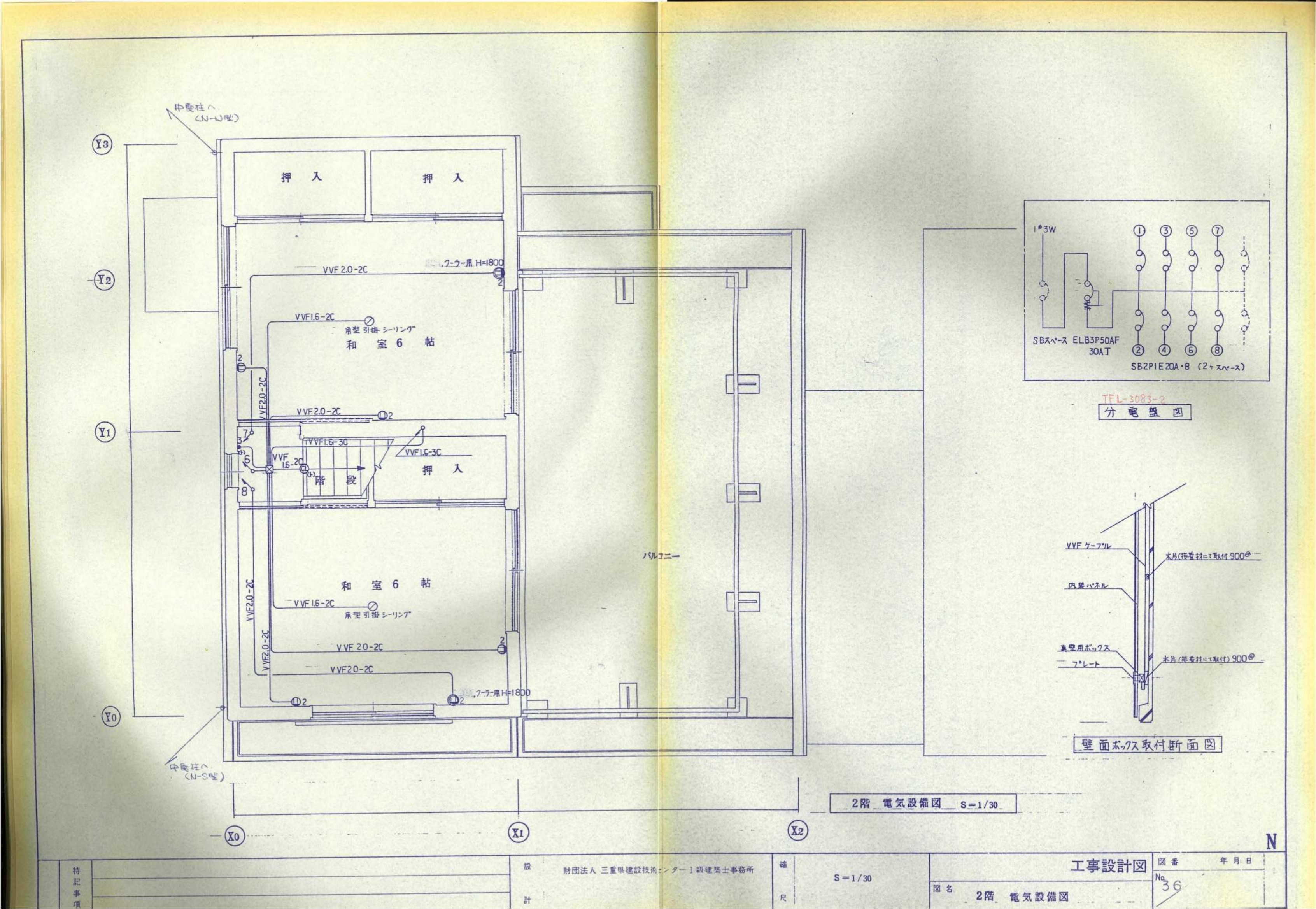
津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺 NS
図面名称	PC接合詳細図（1）	原図：A 2
津市建設部市営住宅課		No. 18/21

参考図



※ 配管・配線は可能な限り分別し処分すること
※ 照明器具については、全て撤去済

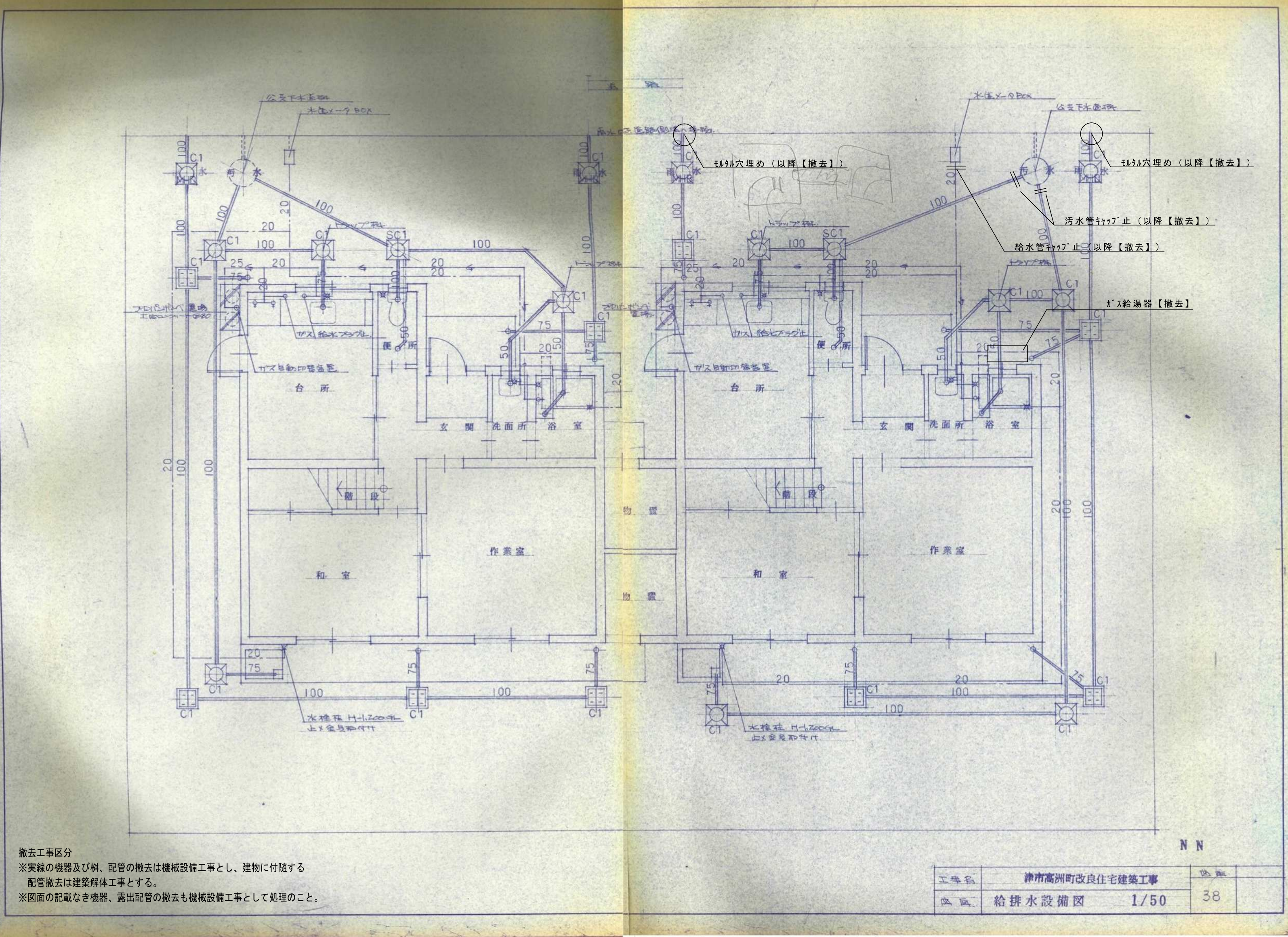
津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
		NS
図面名称	1階電気設備図	原図：A 2
津市建設部市営住宅課		No. 19/21



※ 配管・配線は可能な限り分別し処分すること
※ 照明器具については、全て撤去済

津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺
		NS
図面名称	2階電気設備図	原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 20/21

参考図



津市市営高洲住宅（14-13）解体工事		縮尺	NS
図面名称	給排水設備図	原図：A2	
津市建設部市営住宅課		No.	21/21